

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 8月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700319		
法人名	空知パブリックメンテナンス株式会社		
事業所名	グループホームまごころ		
所在地	岩見沢市栗沢町最上293番地 1 (電話) 0126-45-4110		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年7月18日	評価確定日	平成19年8月2日

【情報提供票より】(19年6月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成) 15年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 14人, 非常勤 4人, 常勤換算	12.2人

(2) 建物概要

建物構造	R C 造り		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	15,000 ~ 19,000 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (7月 18日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	1	要介護 2	11
要介護 3	6	要介護 4	0
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 85 歳	最低 65 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岩見沢市立栗沢病院・町立長沼病院・栗山赤十字病院・三嶋歯科
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、広い畑と深緑の木々に囲まれた自然豊かな環境に立地している。事業所内は全体的に広々とした造りになっており、季節感のある飾りつけにより明るく家庭的な雰囲気を有している。職員は利用者の思いや意向を大切に、穏やかな対応を心がけている。また、職員は毎月手書きの近況報告書を家族に送付したり電話にて連絡するなど、家族と密なる関係作りに努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題である運営理念の啓発・広報については、消防署・警察署・商店などにも事業所便りを配付したり、運営推進会議の中で事業所の運営内容・方針等について説明がなされている。また、緊急時の手当てについては、全職員が救急救命講習を受講しており、緊急時の対応も万全である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。また、職員は自己評価の意義・目的を理解しており、評価を日々のケアサービスに活かせるよう努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議において事業所の運営理念や取り組み状況を報告し、地域住民からの理解を深めてもらえるよう努めている。また、地域住民からも意見を出してもらい、サービスの質の向上に反映している。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示している。また、事業所内に苦情箱を設置しており、家族が気軽に意見・要望を伝えられるような工夫をしている。また、家族から出た意見・要望は全職員で話し合い、速やかに対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しており、地域の行事に参加したりボランティアを受け入れるなど、地域との交流を図っている。また、事業所の行事に近隣住民を招待したり近隣農家から野菜の差し入れがあるなど、地域との良好な関係が築かれている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ありのままに ゆとりと安らぎのある暮らし」という独自の理念をつくっており、地域と支え合う関係作りに努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を理解しており、利用者の思いや希望を大切にしたいケアサービスを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、地域の行事に参加したりボランティアを受け入れるなど、地域との交流を図っている。また、事業所の行事に地域住民を招待したり、近隣農家から野菜の差し入れがあるなど、地域との良好な関係が築かれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での改善項目に関して、速やかに改善に取り組んでいる。また、今回の自己評価にあたり全職員で話し合い、評価の意義・目的を確認しながら取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において、事業所の運営方針や取り組み状況等を報告し、地域住民にも事業所への理解を深めてもらっている。また、地域住民からも意見を出してもらい、日々のケアサービスに活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の行政担当者と密に連絡を取っており、意見交換を行いながら共にケアの質の向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>事業所便り・行事の写真・職員手書き近況報告書を毎月家族に送付しており、利用者の日々の暮らしぶりや健康状態等を報告している。金銭管理については、領収書を添付した出納帳を家族に確認してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示している。また、事業所内に苦情箱を設置しており、家族が気軽に意見・要望を伝えられるような工夫をしている。家族から出た意見・要望は全職員で話し合い、速やかに対応している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動を最小限に抑えるよう努めており、利用者との馴染みの関係を大切にされた支援を実践している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が交互に、認知症介護実践者研修やグループホーム協議会の職員研修を受講している。研修後は他の職員に報告し、いつでも確認できるようレポートを綴っておくなど周知の徹底を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会空知ブロックに加入しており、ネットワーク作り・勉強会・意見交換を行うことにより、サービスの質の向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に職員が利用者宅を何度も訪問したり利用者に事業所を見学してもらい、馴染みの関係を築いてからの入居としている。また、入居後も利用者が事業所に慣れるまでは家族や関係者に頻繁に訪ねてもらおうなど、利用者への配慮がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀しみを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のこれまでの経験を活かして、料理と一緒に作ったり昔の歌を覚えてもらうなど、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者の言葉だけではなく表情からも希望・意向を把握するよう努めている。また、家族からも情報を聞き本人にとり最良の支援を心がけている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員の担当制を導入しており、カンファレンス時に利用者の細かな状況変化を伝達し、介護計画を作成している。また、来訪時に家族と繰り返し話し合いを行っており、本人・家族の意見を反映した介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の見直しのほか、利用者の状態変化に応じて随時見直しを行っている。来訪時に家族と介護計画について話し合い、確認後は捺印をもらっている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の通院の付き添いや美容院やお墓参りへの送迎など、柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者は月に1度、血液検査や骨粗しょう症検診を受けている。また、市立病院は24時間受診が可能であり、かかりつけ医や協力医療機関と密なる関係が構築されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族・医師・関係者と重度化や終末期の方針について話し合い、共有化を図っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は、利用者のプライドを傷つけないような言葉づかいや対応を心がけている。また、医療機関に利用者の情報を提供する際は家族の同意を得るなど、個人情報の取り扱いの徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、利用者が思いのまま自由に過ごせるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの力量に応じて、食事の準備や後片付けなどを職員と一緒にを行い、和やかな雰囲気の中で共に食事を摂っている。また、利用者希望の料理と一緒に作る「利用者さんの作る料理」の日があり、利用者の楽しみとなっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回の入浴支援を行っている。浴室は広々としており、窓からの眺めも良く、利用者は楽しみながら入浴している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理の準備や畑仕事・折り紙・生け花など、利用者の生活歴や力に応じた役割や楽しみごとの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の公園への散歩・買い物・ドライブなど、利用者一人ひとりの希望に沿えるような外出支援を実践している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠しておらず、玄関にセンサーが設置されているため、利用者が外出する時は職員は察知できるようになっている。また、利用者が外出する様子の時は、職員はさりげなく声かけをし、同行している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、年に1度避難訓練を実施している。また、消防署への通報・消火器による消火活動等の訓練を実際に行っている。	○	今後、地域住民の協力の下、災害対策について検討することが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事・水分摂取量をアセスメントシートに記録しており、職員は把握している。高血圧予防のため味付けは薄くし、糖尿病の利用者には量を調節している。また、刻みやトロミをつけるなど調理方法にも配慮している。栄養バランスやカロリーに関しては市の栄養士に定期的な確認を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・廊下・台所など事業所内全体が広々とした造りになっており、利用者の作品が飾られ季節感のある空間となっている。また、廊下やサンルームにテーブルと椅子が置いてあり、利用者が寛げるような場所を確保している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具・仏壇・思い出の品等が持ち込まれており、居心地良く過ごせるように工夫されている。		

 は、重点項目。